

令和5年度 授業改善推進プラン教科別計画 【英語科】

学年	作成者	現状分析による課題	具体的な改善策 「いつまでに」・「どのように」・「どの程度」	
			短期的な改善策	中・長期的な改善策
1年	角田 小田桐	①家庭学習が定着していない。まずは音読練習の習慣化と、基礎・基本の定着のための課題に取り組ませる。 ②話すことに関しては、質問に適切に答えたり、即興で話をしたりすることに課題が見られる。 ③まとまりのある文章を書くこと、正確に書くことに課題が見られる。	①音読カードとデジタル教材を活用し、英語らしい発音を真似て練習させる。また、週末課題に取り組ませる。 ②Q&Aの活動、Q&A&Aの活動を取り入れ、発話の機会を増やすとともに、表現の幅を広げていく。 ③2～3文程度で自身の考えを書かせる活動を増やし、読み手に伝わるように考えて書くことを習慣化する。	①音読チェック、小テスト等の機会を設け、定期的に形成的な評価を行い、指導・学習の改善に活かす。 ②自己表現を行う機会を確保し、生徒の発話量を増やすことで、間違いを恐れずに話そうとする姿勢を育む。 ③「話す→書く」活動を継続的に行い、エラーチェックを通して正確性の向上を図るとともに、生徒同士の文章を読み合い、深い学びにつなげる。
2年	大宅 小田桐	①練習問題にはしっかり取り組む生徒が多いが、学習内容が定着せず、英単語の綴り、文法、和文英訳、英作文作成に対して苦手意識を持つ生徒がいる。 ②音声としては大まかな英語での自己表現ができるが、記述になると不正確な生徒が多い。 ③英語での自己表現が不正確な生徒が多い。	①単語テストの実施や単語練習の課題を出すことで、語彙力の定着と家庭学習の習慣化を図る。また、毎時間の練習問題を継続することで、既習の文法事項を定着させる。 ②教科書の音読練習を重視し、英語表現の定着の手がかりとし、机間指導の機会を増やして指導の充実を図る。 ③あらかじめテーマを提示した英作文テスト、スピーチテストを、内容を暗記させて行う。	①家庭学習の定着のために、単語や英文を書く練習、新出単語や本文内容の予習などを継続させる。 ②教科書の音読を毎単元で一人一人することで、英語を人前で話す事への軽減を図る。 ③英語での自己表現能力を高め、正確な英文の記述ができるようにし、総合的な英語運用能力を高める。
3年	高見 成田	①授業に意欲的に取り組み、音読練習活動に積極的に取り組む生徒が多いが、家庭学習の習慣が身につかず、基礎学力が定着していない生徒もいる。 ②習熟度に差があり、基礎学力が定着していない生徒がいる。 ③練習問題にはしっかり取り組む生徒が多いが、作文などの表現活動や長文読解に対して苦手意識を持つ生徒がいる。	①短文暗記テストや単語テストをこまめに行い、家庭学習を定着させる。 ②少人数グループによる指導体制を効果的に使い、教師との1対1の対話や机間指導の機会を増やし、指導の充実を図る。 ③入試等の長文問題を定期的に解かせる。	①家庭学習の習慣を定着させるため、三年間の文法事項を復習できるワークを定期的に提出させる。 ②授業のワークシートを工夫し、基礎的な内容の確認から発展的な内容まで段階を踏みながら課題に取り組めるようにする。 ③ALTと協力し、表現力をつけるための発表の機会を設ける。